

## 図書館からのお知らせ

\*本であそぼ 企画  
「くちくくクラブ」参加者募集

今回は、羊毛作家の横尾あづさんをお招きし、羊毛をくちくく刺してモビールを作ります。おしゃべりを楽しみながら、すてきな飾りを作つてみませんか？

期 日：2月22日(土)  
午前10時～12時

場 所：トレーニングセンター  
めばえの部屋

材料費：300円  
定 員：15名  
(定員になり次第締め切ります)

申 込：山形村図書館 ☎98-3155

あなたの本との出会いをお伝えい……図書館便り

## BOOK NO.45

編集=山形村図書館

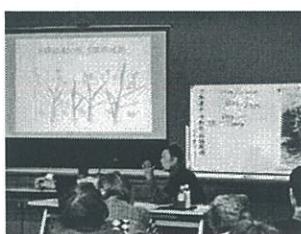
## 「安全なお米とお味噌で健康に」

## 熱心に耳を傾けました

冬らしく冷え込んだ12月8日(日)、トレーニングセンターふるさと大ホールにて、図書館講座「安全なお米とお味噌で健康に」を行いました。村内外の23人が耳を傾けました。

講師は、高山村で不耕起稻作を実践する園原久仁彦さんです。

「自然耕墾@高山村」の代表を務め、農薬も除草剤も使わずに米を育てています。安心な土から育つ米は健康そのもの。その米からできることを使つた味噌もまたしかり。わたししたちは日々、さまざまな食品を口にしますが、



## 私のこの一冊

図書館利用者 小林好子

## 『長くつ下のピッピ』



もしもあなたが隣に住んでいる女の子が、馬を持ち上げてしまふくらい力持ちだつたら？そして「勉強しなさい」とか「早く寝なさい」とか言ううるさい大人もいなくて、自由に暮らしてたら？長くつ下を履いたピッピはそんな女の子。

小学生の私はピッピにあこがれ、ピッピの空想の世界や冒險にワクワクしながら何度も物語を読み返し、自分もピッピになつた気分でみんなもぜひ一度ピッピに出合つてみてください。楽しい世界が待つてますよ！

食の安全には多くの人が関心を持つっています。毎日口にする日本人の基本食「米」と「味噌」が安心して食べられれば心強いですね。講演後は、不耕起稻作に適したイネの育て方や、冬の水の張り方など、実際に稻作をしている皆さんから多くの質問が挙がりました。持続可能な米作りを目指して、村内でも実践が始まっているようです。

## 『手で食べる？』

森枝 卓士(福音館書店)



『いいね！』  
筒井 ともみ(あすなろ書房)  
「眠れない」とか、「会えない」とか、「見いやなこと、ダメなことに思えるけど、見かたを変えたらどうてもいいことに思えてきた！子どもに、世の価値観をひっくり返す楽しい生き方を伝えます。



『あたまをつかつた小さなおばあさん』 第2弾・第3弾 (太郎次郎社エディタス)  
スミレ研究の第一人者が半世纪をかけて出会つてきた花を、エピソードとともに紹介します。内城葉子によるボタニカルアートもお楽しみください。

## 山田 隆彦

(太郎次郎社エディタス)



『大名倒産』 上・下 (太郎次郎社エディタス)  
スミレ研究の第一人者が半世纪をかけて出会つてきた花を、エピソードとともに紹介します。内城葉子によるボタニカルアートもお楽しみください。

## 小四郎 次郎(文藝春秋)

(太郎次郎社エディタス)

『日本のスミレ探訪』 山田 隆彦  
新聞の見出しとなるような「大文字の図りごと」をして考えてみませんか？めぐりめぐつて、誰かが自分の助けになつてくれることもあるかもしえません。そんなふくよかな社会を願う、社会派エッセイです。

## 『ほんのちよつと当事者』 青山 ゆみこ (ミシマ社)



護教諭を勤め続けた著者が、退職後に「川中島の保健室」を開きました。からだ、



白澤 章子(かもがわ出版)  
長野県内で養



『まちかど保健室にようこと』 第2・3弾。  
白澤 章子(かもがわ出版)

思ひがけず家督を継いだ若殿小四郎は、藩に大借金があることを知ります。大名倒産をもくろむ先代と、倒産阻止を決意する若殿の対決は、貧乏神や七福神も巻き込んで…。はてさて藩の運命やいかに？



浅田 次郎(文藝春秋)  
『大名倒産』

